

初めの一步 — 人と人との関係

互いに声を聞く。顔を見る。話をする。人と人との関係は五感より始まる。患者—医療者の関係も、医療機関の連携もまずは人と人との関係と信頼から始まる。声がわかる関係、顔がわかる関係、そういう身近な関係を私共はたくさん作っていききたいし、作っていくことが求められている。

院長 小川 洋史

写真：夜明けの涸沢カールと紅葉(松本市) (撮影：小川 洋史)

家族が“認知症”と診断されたら

新生楽舎デイサービスセンター 介護福祉士 赤田 昌子

認知症の現状

高齢化社会が進む中において、認知症を患った高齢者へのケアはテレビや新聞で多く取り上げられ、専門書やインターネットで必要な情報は簡単に調べられるようになってきました。介護保険制度の導入によって様々なサービスが受けられる時代になってもなお、高齢者をめぐる悲惨な事件は後を絶ちません。

認知症患者

今まで出来ていた事が出来なくなり、忘れていた事さえ忘れてしまっています(表1)。他人なら気に留める事はありませんが、これが自分の家族だったらどうでしょうか。「どうして出来ないの」「何度言ったら分かるの」、まるで子供を叱るような言葉をつい言いたくなります。これは、眼の見えない人に「よく見て」と言っているのと同じ事なのです。また、認知症患者は判らない不安から怒り出す事も多くあります。怒りや悲しみ、嬉しい、楽しいといった感情は最後まで残っています。

表1 認知症の物忘れと健康な物忘れの違い

認知症の場合		健康な場合
自覚なし 思い出せない	物忘れの自覚	自覚あり 思い出せる
あり	経験(体験)の喪失	なし
進行する	物忘れの程度	進行しない
支障を来たす	理解・判断などの能力	支障なし
支障を来たす	生活への支障	支障なし

(「認知症を正しく理解するために」マイライフ社)

認知症の関わり方

まずは怒らずに、ありのままを受け入れる事から始めましょう。これは、介護をする家族にとっては一番難しい最初の段階になります。そして、出来ない事よりも出来る事を探してみましょう。新しい事は忘れていても、若い頃の事や長年続けていた事は、体が覚えている場合が多いものです。そして、出来る事に目を向けるのは介護をする側の気持ちがあつても楽になる事につながっていきます。

認知症は病気です。そして物忘れは誰にでもあります。認知症患者のケアを家族だけでなく地域と一緒に考えていきましょう。

認知症の作業療法

新生会第一病院 リハビリテーション科 作業療法士 長坂 美紀

認知症のリハビリ

言葉で自分の立場や気持ちをうまく表現できない認知症の人の言動の意味を考え予測して、その人の思いを満ちし、社会との関わりを持ち人間として尊重されると実感できることが必要です。その人らしさを見つけることが大切だといわれています。

目的

比較的初期の段階であれば失われた機能の一部を回復することもできますが、一般的には失われつつある機能の進行を遅らせる、もしくは、失われないように機能を維持していくこととなります。認知症の人は何も分からないというのではなく、慣れた動作など身体が覚えていることも多くあります。しかし、取り巻く環境の急な変化(近親者の死や住居の転移)、否定や批判的な対応を繰り返すケア、過剰な作業や運動において症状が進行する可能性があります。



作業療法

ある出来事に対して、「なぜできないか」「その時の感情はどうか」などを細かくとらえ、今できている能力を使い、どのようにすればできるようになるのかを工夫し、日常の中で安心感や満足感をもてる環境を整えていきます。その空間や環境こそが、認知症の人の自信や自発性を向上させ、できることを最大限に引き出します。また、その人に合った質と量の課題を提供することで、能力の維持を目指しています。

具体的な方法

失敗をさせないような介入をして、成功体験を積み重ねて自信を回復させます。また、なじみのある道具(写真や玩具)などを使い、過去の記憶を思い出してもらいます。さらに、想像力・記憶力・コミュニケーション力・自制力などを刺激して、広範囲の脳の活性化を図っています。

血管の“硬さ”や“詰まり”を調べるCAVI(キャビィ)検査

キャビィ CAVI検査とは

上腕・足首・足の親指の血圧を測定し、血管の“硬さ”や“詰まり”の程度を調べる検査で、動脈硬化症の早期発見・治療に役立つ検査です。

動脈硬化とは

血管の内腔が狭くなったり弾力性を失った状態のことです。**危険因子には高血圧・高脂血症・肥満・喫煙・糖尿病・ストレスなどがあります。**動脈硬化は自覚症状がないまま進行してしまうため、気付いた時には既に重症化(心筋梗塞や脳梗塞など)している場合が多くあります。

検査時間

1回5分ぐらいの簡単な検査で、準備等を含めても15~20分程度で終わります。

* **危険因子**があてはまる方、関心をお持ちの方は医師にご相談ください。

(新生会第一病院 検査科)





私の家庭透析

加藤 操(透析歴35年)

私が23歳の時、結婚してすぐ地元近くの総合病院で腎臓に問題があると診断を受け入院しました。たまたま遠縁の者が新生会第一病院に勤務しており、「腎臓病なら当院が専門だから」との助言で転院しました。糸球体腎炎から腎不全に至り透析導入、発病から半年余り訳もわからず過ぎて行きました。ただ、幸いだったのは、当時、透析患者の失明、骨折がよくあった時代に新生会第一病院で質の高い家庭透析ができ、仕事と透析が両立できたことです。その家庭透析も今年の3月で35年が経ちます。私が今日続けられたのも、病院の先生、スタッフの方、主人の支えがあったからだと思います。先日も私自身今だに穿刺がうまくなく、失敗してしまいました。そんな時に限って、透析前、水分を少し多めに摂っていたため「さあどうしよう」とあわて、担当看護師さんに相談しすぐに施設で透析ができるよう手配してくださいました。そんな時は在宅での透析ではありませんが、身近に病院を感じる瞬間でもあります。

仕事についても10年前まで、商売の手伝いを一人前とはいかないものの続けることができました。仕事をしていた頃は、午後2時ごろから妹や母に開始操作の手伝いをお願いし、透析中はインターホンを枕元に置き、何かあったらすぐ駆けつける体制を組み、透析中はほとんど読書をして過ごしていました。



患者 介助者

最近の家庭透析は隔日に行なっています。プライミングや機器の消毒、穿刺までの準備はすべて自分で行き、穿刺からは針をテープで固定する、血液回路との接続、回路内の空気抜き、除水などの設定を主人に協力をお願いしています。透析1時間目までは、お菓子やお茶などを満足いくまで摂り、その後は控えるように心がけています。透析中はもっぱらテレビやとりためたビデオを楽しんでいます。主人はパソコンとともに一緒にそばにいて、インターホンは不要になりました。透析の後半は背中痛みで横になったり座ったりを繰り返すことが多くなり、少しでも長い時間透析をした方がよいとわかってはいても、時計と睨めっこの状態で10分が延ばせない状況です。

35年間を振り返ると、主人と些細な喧嘩をして施設透析を考えたこともありました。喧嘩中は感謝の気持ちも忘れ、口も聞きたくないと思ったこともありました。しかし、1日置き透析はいつの間にか喧嘩も終わらせてくれました。家庭透析は夫婦円満までは無理でも家内安全の役に立っているかもしれないと思います。合併症についても20年過ぎた頃より少しずつ出てきました。両手2本ずつのばね指、両手首の手根管症候群、副甲状腺機能亢進症、左肩関節痛、副腎、腎臓の摘出術などいろいろと経験しましたが、一つ一つ克服中です。

今、私が大事にしていることは、透析ばかりに縛られず楽しみを多く持つという事です。透析の合間にフラダンス、アクセサリー作り、パソコン教室に参加、主人とともに弓道などを習っています。旅行も好きで10年前までは海外旅行などもしましたが、今はもっぱら日帰りバスツアーを楽しんでいます。



フラダンスを楽しむ加藤さん

(第16回在宅血液透析研究会・シンポジウムより)

第19回 新生会オープンセミナーのご案内

日時:2013年9月21日(土) 13:30~15:30(受付13:00~)

『認知症を知ろう』シリーズⅠ

第一部:認知症ケア(上手な付き合い方)

講師:新生楽舎デイサービスセンター 介護福祉士 赤田 昌子

第二部:認知症予防と進行予防

講師:新生会第一病院 リハビリテーション科 作業療法士 長坂 美紀

* オープンセミナー終了後、看護師によるミニ健康チェックを行います。

場所:新生会第一病院 集会室

お問い合わせ:052-832-8411(オープンセミナー担当者 地添・橋本)



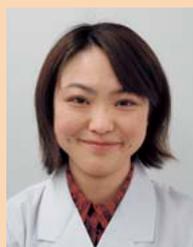
医師のご紹介

当院に新しく入职された医師を紹介します



月曜日
腎・一般内科外来
渡辺 達人

4月1日から、腎臓内科に勤務することになりました。よろしくお願い申し上げます。



腎臓内科
小島 木綿子

4月から新生会第一病院の内科勤務になりました。よろしくお願い致します。

満足度調査へのご協力 ありがとうございました。

患者サービス推進委員会

2013年6月10日から7月13日まで新生会第一病院(外来・病棟・浄化センター)、十全クリニックにて満足度調査を行いました。皆様アンケートにご協力いただきありがとうございました。

皆様から寄せられた貴重なご意見をもとに、満足していただける病院を目指していきたく思います。アンケートの結果は院内に掲示いたします。



新生会第一病院 一般外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	/	○	○	○
腎臓内科		○	○		○	○	○
リウマチ科/整形外科		○	○		○	○	○
糖尿病内科/内分泌科	午後	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	※	○	○	○	○	○	○

診療時間:

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) / 午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病内科の日に、糖尿病栄養外来、糖尿病看護外来実施
◎リウマチ相談窓口あり

※ リハビリ実施時間:

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科、透析ベッド 46 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

電話 (052)832-8411 FAX (052)832-9063

ホームページ <http://www.hospo-shinseikai.org>

※ 当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

